

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 15 日

事務事業名		市内高齢者クラブ助成事業		事業区分		担当	
				新規/継続	継続	事務事業No.	020601000004
				単独/補助	補助		040501
政策体系		政策体系上の位置付け		主要事業	対象外	所属課	高齢福祉課
総合計画の施策名		0206 高齢者福祉の推進		市長マニフェスト	対象外	グループ	高齢福祉グループ
政策名		02 安心と安らぎのある健康福祉社会づくり		未来PJ事業	対象外		
施策名		06 高齢者福祉の推進		合併建設計画事業	対象外		
基本事業名		01 高齢者の生きがいがいづくりの推進		合併建設計画事業	対象外		
		財務会計上の位置付け		事業期間			
予算科目	会計			一般会計		単年度繰返し (年度~)	
	01	03	01	02	00	老人福祉総務事業	
法令根拠		桜川市補助金等交付規則				→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像) 市内にある各高齢者クラブ会員の健康と生きがいのある生活を送るために、その活動を支援するために補助を行う事業である。 ※各地区高齢者クラブ67団体にに対し、基本額(30,000円)+人数割(1人450円)の補助金の支払い	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 【担当者が行う業務の内容】 補助金申請書類の送付、補助金申請書の受付、申請書内容の確認、補助金の交付決定、補助金の支払い、実績報告書の確認

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
補助金申請書類の送付、補助金申請書の受付、申請書内容の確認、補助金の交付決定、補助金の支払い、実績報告書の確認	各地区高齢者クラブ数	団体	67.00	66.00	67.00	67.00	67.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
桜川市内単位高齢者クラブ	各地区高齢者クラブ数(県費補助対象団体)	団体	55.00	50.00	50.00	50.00	50.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
桜川市各地区の高齢者クラブ活動の活性化を図るために支援する	各地区高齢者クラブの会員数	人	3,787.00	3,498.00	3,500.00	3,500.00	3,500.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定 総投入量		
投入	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
		県支出金	千円	1,136	800	800	800	800	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	2,857	2,751	2,965	3,000	3,000	0
事業費計(A)		千円	3,993	3,551	3,765	3,800	3,800	0	
量	人件費	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	/
		述べ業務時間	時間	115.00	120.00	120.00	120.00	120.00	
		人件費計(B)	千円	334	348	348	348	348	
トータルコスト(A)+(B)		千円	4,327	3,899	4,113	4,148	4,148		

事業費の内訳	27年度事業費 実績(千円)			28年度事業費 予算(千円)		
	19 負担金補助及び交付金	3,551		19 負担金補助及び交付金	3,765	
	合計	3,551		合計	3,765	

(4) 当該年度の実施内容	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			

事務事業名	市内高齢者クラブ助成事業	事務事業No.	20601000004	所属課	高齢福祉課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 県補助事業として地域の高齢者の生きがいと健康づくりに寄与するための活動助成されている。高齢化に伴い、対象者人口は増加しているにも関わらず加入者は減少している。また、補助金の単価を平成22年より、「人数割補助単価@500→@450」へと減額している。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 地域高齢者クラブからは、クラブ加入者が高齢(80歳以上が大半)のため、事務手続きは変わらないのに補助金の配布金額が少ないことや事務手続きが面倒など、行政とのやり取りが困難になってきているという声がある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 各地区単位で組織されている高齢者クラブの活動を支援することは、高齢者福祉の向上に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 高齢者の生きがいづくりのために各地区高齢者クラブの自主活動を支援することは、高齢者福祉の活動向上を図ることになるため妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 組織の高年齢化が進んでいる。新たな世代(60代)の参加を促進するような活動へと事業展開を検討すべきである。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 高齢者の活動の場がなくなり、地域社会での交流が失われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 地区単位の組織であるため
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 県補助金の交付基準が平成22年に改正され、市でも単価見直しを行っているが、今後は活動内容によつての補助金とすべきである。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 各地区単位で組織されてる団体のため、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 高齢者の数は増加傾向にあるが、一方で高齢者クラブの会員数は減少している。また、高齢者クラブの活動休止も増えてきているため、いかにして社会における高齢者の役割を確立させるかが今後の課題である。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 高齢者クラブ参加者の意識改革																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑤ コスト削減優先度評価結果 ⑧																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---